六　識　事　　文永期

知	眼識	心意	肉・天・慧・法・仏眼
	耳識		肉・天・慧・法・仏耳
	鼻識		肉・天・慧・法・仏鼻
	舌識		
	身識		肉身・天身・慧身・法身・仏身
	意識		

見

正説・領解（りょうげ）・述成・授記・歓喜

但彰灼（しょうしゃく）に二乗に授記して顕露分明に長遠の寿を説くことを知る。茲（ここ）の一座に於て聞知せざること無し。故に名づけて顕と為す。

大乗を学ばん者は肉眼有りと雖も名づけて仏眼と為す。耳鼻の五根例して亦是くの如し。

魔梵釈女

菩薩処胎経「法性（ほっしょう）は大海の如く是非有るを説かず。凡夫賢聖の人は唯心垢（しんく）の滅する在り。平等にして高下無く、証を取ること掌（たなごころ）を反すが如し」と。

理具

加持

顕徳

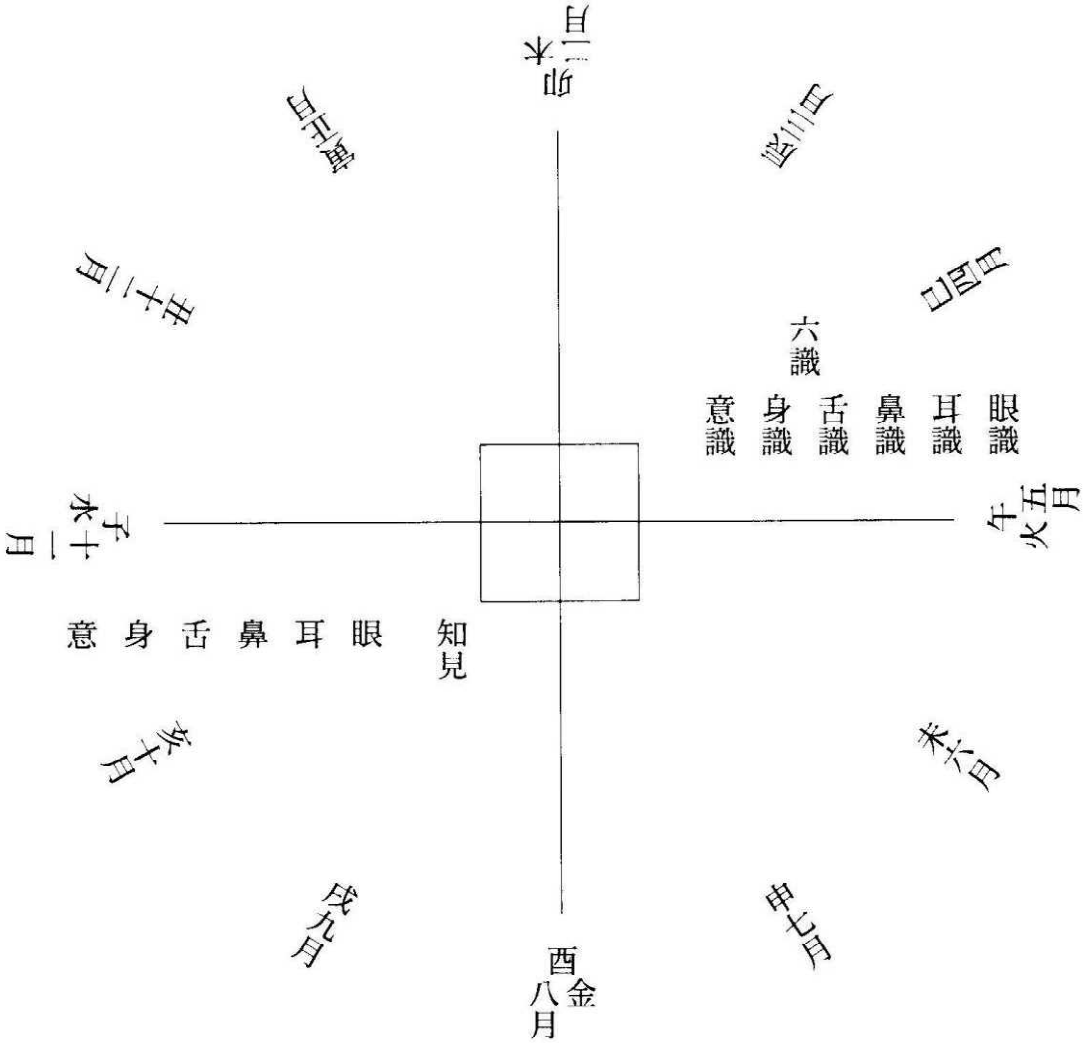
- 強　世出世に亘る　眼耳意
- 弱　世間に限る　鼻舌身

中智を離る

- 至　鼻舌身
- 不至　眼耳意

中智に合す

知覚　　聞見


酉金八月
戌九月
亥十月
子水十一月
丑土十二月
寅木一月
卯木二月
辰土三月
巳火四月
午火五月
未土六月
申七月
眼識
耳識
鼻識
舌識
身識
意識
六識
知見
眼
耳
鼻
舌
身
意